

陸奥湾沿岸津波講演会

この陸奥湾沿岸津波講演会は、津波による災害リスクを正しく知り、津波災害を自分事としてとらえ、自らの命を守ること、迅速な避難・地域防災力の強化に繋がるよう開催するものです。

更に、県から、令和3年5月に公表した「津波浸水想定」について、さらに、令和5年3月に指定した「津波災害警戒区域（イエローゾーン）」についての説明や野辺地町に津波が襲来する3次元CG動画の紹介があります。

日 時： 令和7年10月28日（火）13時30分～14時30分

場 所： 青森県立野辺地高等学校（第二体育館）
上北郡野辺地町字松ノ木106番地1

Tel 0175-64-2266

参加費： 無料

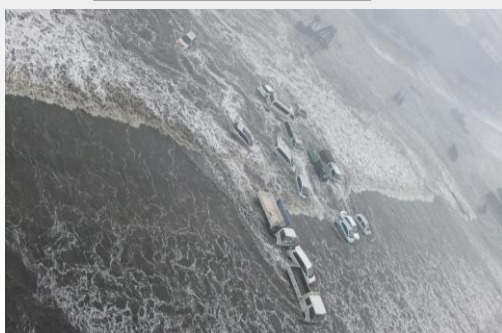
＜申込方法＞

令和7年10月20日（月）までに、野辺地町役場防災管財課へ電話（64-2111）で申し込みをお願いします。

おいらせ町 川口地区



八 戸 港



次 第

13:30～14:15 講演

「陸奥湾沿岸の最大クラスの津波と地域の
防災力向上について」

講師 八戸工業大学

名誉教授 佐々木 幹夫氏

14:15～14:25 講演

「津波災害の自分事化について」

講師 青森県県土整備部河川砂防課

河川・海岸グループサブマネージャー

主幹 藤森 由美子氏

14:25～14:30 質疑・応答

主催：青森県・野辺地町・あおもりの川を愛する会

後援：（公社）日本技術士会青森県支部

青森県県土整備部河川砂防課 河川・海岸グループ

青森市長島一丁目1番1号

あおもりの川を愛する会 事務局 今 広幸

青森市大字荒川字柴田102-1

TEL017-734-9665

FAX017-734-8191

TEL017-729-0922

FAX017-739-3561

Mail:kon-h@nishidagumi.co.jp

◆ 概 要 ◆

甚大な被害を受けた日本海中部地震から42年、また東日本大震災から14年が経ち、その間、大学等の研究機関や青森県・国土交通省等の行政機関において、津波に関する様々な調査、検討が行われてきました。

青森県においても、「平成23年東北地方太平洋沖地震に起因する津波災害を踏まえた海岸津波対策に係る津波の高さの決定に係る専門家の助言を得るため」、佐々木幹夫八戸工業大学名誉教授（当会会長）を座長とする学識経験者により構成された「青森県海岸津波対策検討会」が、平成24年（2012年）1月に設置されました。検討会において沿岸毎に段階的な津波浸水想定の設定が進められ、平成27年3月に県内全沿岸の設定が完了しました。

その後、令和2年4月に国が新たな巨大地震モデルを公表したことを受け、検討会において津波浸水想定の見直しを進め、令和3年5月に新たな「津波浸水想定」が公表されました。

今回の陸奥湾沿岸津波講演会は、当会会長であり、同検討会座長であった佐々木幹夫八戸工業大学名誉教授から、東日本大震災から得られた多くの教訓及び様々な検討の成果や最新の知見に基づいた「陸奥湾沿岸の最大クラスの津波と地域の防災力向上について」と題した講演を行います。

また、県から、令和3年5月に公表した、野辺地町における最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域・水深を示した「津波浸水想定」について、更に、町による津波ハザードマップの作成、避難訓練の実施、避難施設の確保などを推進し、津波に対する警戒避難体制の整備をより確実なものとすることを目的として、令和5年3月に指定した「津波災害警戒区域」について、概要を説明するとともに、野辺地町字馬門道地点での身近な街並みに津波が襲来する3次元 CG 動画なども紹介します。

なお、本津波講演会は、平成 28 年度に中泊町での開催に始まり、深浦町、鰺ヶ沢町、むつ市、深浦町（田野沢地区）、おいらせ町、青森市において 7 回開催し、延べ 838 名の方々の参加がありました。